



ZENFUREN

2015年10月2・3日

号外

全国国立大学附属学校連盟
全国国立大学附属学校 PTA 連合会
〒105-0001 港区虎ノ門 1-2-29
虎ノ門産業ビル 8F
TEL : 03-3591-2091
FAX : 03-3591-2092

全附P連PTA研修会 第6回全国大会

本講演 1

子どもの才能のを見つけ方、伸ばし方

～明るく、楽しく、あきらめない、「親ばか」子育てのススメ～

辻井いつ子氏



辻井伸行氏といえば世界的に大変有名なピアニスト。その彼を育てた母親いつ子さんはどんな方だろう？どんな子育てをなさってきたのだろうか？子育て真っ最中のお母さん、お父さんはきっと関心のあることでしょう。いつ子さんの「明るく、楽しく、あきらめない」子育てには、毎日奮闘している親たちへの素敵なメッセージが詰まっていました。

いくら自分の子どもにすばらしい才能があってもそれに気づき、伸ばしていくというのは簡単なことではないと思います。それが、障害のあるお子さんなら日常生活を送るのも必死でしょう。でも、いつ子さんは伸行氏の障害を“個性”に変えました。子どもの小さな反応を見逃さず、興味を持つことを積極的に応

援し、小さなきっかけから大きな夢を抱いてその夢の実現へ親子で一丸になって取り組む。誰もが簡単に実践できることとは言いがたいかもしれませんが、子どもの可能性を信じて見守ってゆったり励ましてやるのがどれほど大切かをお話しされました。

また、どんなに才能のある子どもでも、チャンスを与えてやるのは親です。いつ子さんは、伸行氏にいいピアノの先生を見つけてあげようと走り回ったり、様々な体験をさせたいとアウトドアに積極的に連れ出してあげたそうです。一つ一つの積み重ねが伸行氏を一流のピアニストに導いて行ったんだ、彼の可能性を信じてあきらめず、前向きにやってきたことが結果として実を結んだと実感しました。

子どもの可能性を見出しその才能を信じて褒めたり共感してやる、言葉では簡単ですが、実践するのは親の努力が必要です。しかし、それを実践し見事な成功を収めた方がこうして実際にいらっしやるのです。私たち親も、努力を惜しまず子どもとともに成長していければ明るい未来が見えてくるのではないのでしょうか。辻井いつ子さんからは、親として常に心に留めておきたいシンプルだけど貴重なメッセージをたくさんいただきました。



香川大学教育学部附属幼稚園
PTA 副会長 栗野いづみ 取材